

救急外来 & 北病棟1階

2020年から2021年にかけて、救急外来の大規模改修・拡大工事が行われ、看護スタッフも徐々に増えてきました。

さらに2021年6月より救急看護認定看護師も1名配置されました。

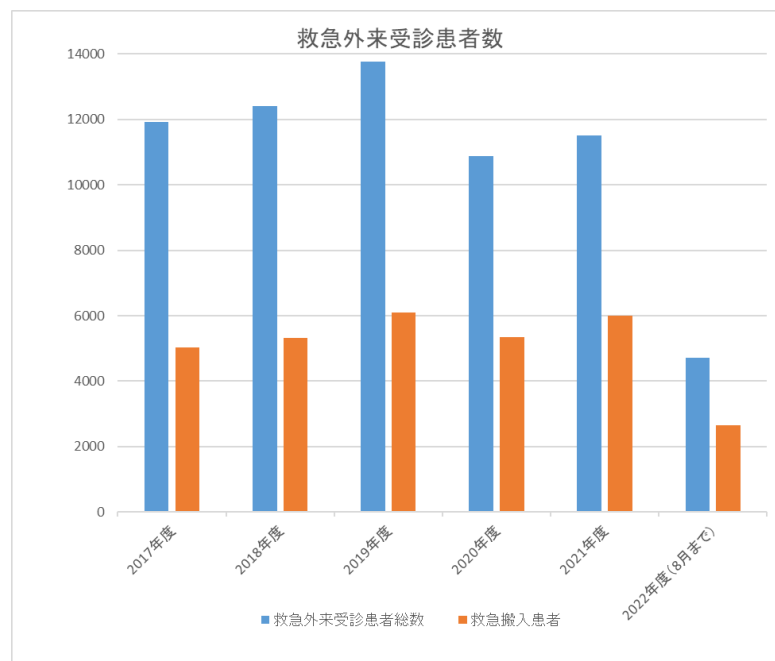
北病棟1階と救急外来を一つの看護単位としています。

救急外来は、北病棟1階スタッフだけでなく、アンギオ室、各部署輪番制の看護スタッフが協力して業務を行っています。

救急診療体制の充実に向け、他職種が協力して頑張っています。

ここ最近ではCOVID-19感染拡大により個人用防護具(PPE)を装着、陰圧個室を使用しての診療が増加しており、

より多くのマンパワーを必要としています。



『One for All, All for The Patient !!』

救急外来診療エリア(東)

どんな時も
手指衛生が大事！



通常は5床ですが、
災害時には、増床可能です。

誰もがわかりやすい物品配置
を目指してます

救急外来診療エリア(西)

診察用個室3室、観察用ベッド3床、重症処置室などを備えています。
患者さんのプライバシーに配慮して、病状説明や診療が行えるスペースです。



観察用ベッド



スタッフステーション



重症処置室

COVID-19感染症への対応や挿管などエアロゾル発生処置を行う際には陰圧室として使用しています。

感染症診察室



- 前室があり、中は陰圧です。
- トイレ完備
- 状況によって必要な感染防護具を選択します。

除染室

- シャワーがあり、除染作業ができます。
- 陰圧室としても使用可能です。



一日の流れ

- 勤務開始、チェックリストに従って、物品確認や機器の作動状況の確認を行います。
どこに何がある？使い方は？
チェックしながら、覚えることも大事！
- 夜勤Ns・日勤Ns・救急医師と共にブリーフィング。
ex) 入室中の患者さんの状況
夜間の出来事
物品の故障や不足
当日の予定
- 勤務終了時デブリーフィング

CPA蘇生(訓練の様子)

2分経過しました。
パルスチェックお願い
します。

人形を使って、訓練中



人形を使って、訓練中



コマンダーの指示に従って迅速に
処置を行います。
チームワークが重要です！

PEA！
アドレナリン1A IV して
下さい。
胸骨圧迫続けてー



北病棟1階



- 病床数
新型コロナウイルス対応病床15床
RI病床 5床
- 基礎疾患があったり、免疫抑制状態で新型コロナウイルス(軽症～中等症)に罹患された患者さんやRI治療目的の患者さんが入院されています。
- 看護師は病棟業務、救急外来業務と固定するのではなく、どちらの場所でも仕事ができるように兼務する形で働いています。

1日の流れ(日勤)

8:30始業開始です



～8:30 出勤 情報収集

8:45～ 夜勤看護師から申し送り

9:00～ バイタルサイン測定・保清・点滴投与.....

11:30～13:30 ペアで分かれて昼休憩1時間

13:45～ カンファレンス

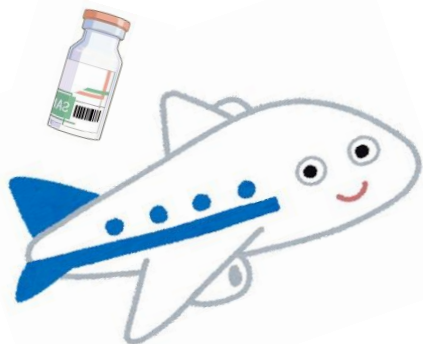
14:00～ バイタルサイン測定・点滴投与・IN・OUT締め.....

明日の点滴・検査・他科受診の確認

17:00～ 長日勤看護師に申し送り

17:15 退勤

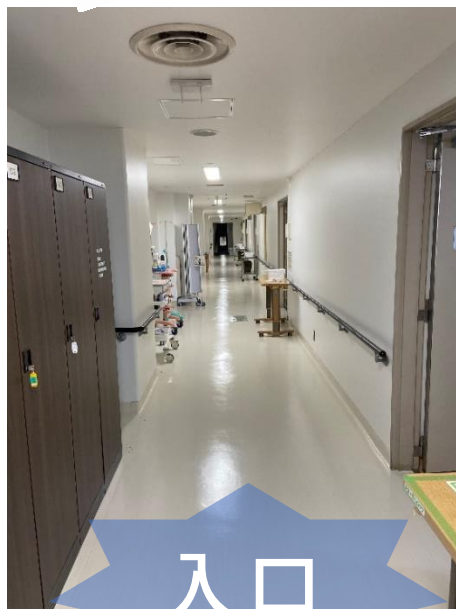
RI治療室



・ヨードの内服治療(入院)が行える施設は京大病院を含め、関西では4施設しかありません。

・ルタテラは薬剤を毎週海外から取り寄せています。薬剤を投与することで腫瘍細胞の増殖を防ぐと注目されている最新の治療です。

※共に内服・静脈投与後より放射線を放出するため線量が基準値以下となるまでは隔離となります。

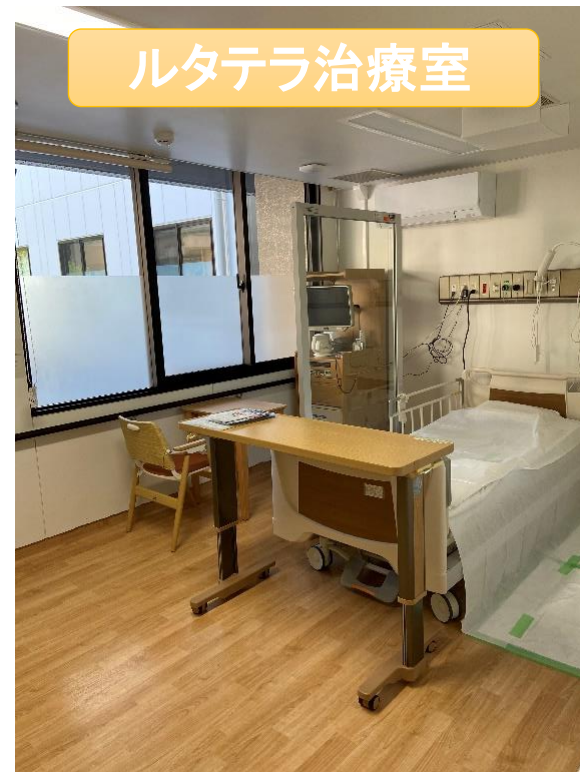


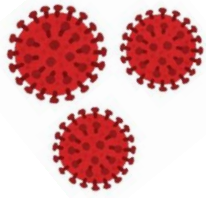
入口

ヨード内服治療室

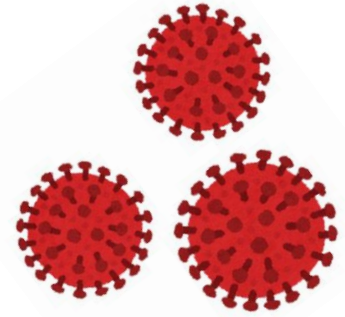


ルタテラ治療室





新型コロナウイルス病棟



北1病棟 COVID-19対応 ゾーニング



しっかり正しくPPEを装着することで安全に仕事が行えます。

エリア全体が陰圧となっており、わかりやすくゾーニング(区分け)しています。レッドゾーン入室時、看護師はフルPPEを装着し患者さんのケア・処置などを行います。

